

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

【基本目標】

人間尊重の教育を基盤に、豊かな心と健やかな体を持ち、自らの課題を意欲をもって創造的に解決することができる、たくましく生きる力をもった児童の育成を目指す。

【具体目標】（目指す児童像）

健康で根気強い子 進んで学び よく考える子 心豊かで 思いやりのある子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

全職員が相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。この教育活動を展開するために、次の「目指す学校像」を設定し学校経営を推進する。

【目指す学校像】

- (1) 明るく 活力のある学校
 - ・分かる授業が展開され、一人一人が生き生きと活動している学校
- (2) 温かく 居がいのある学校
 - ・認め合い、励まし合って、一人一人のよさや個性が発揮できる学校
- (3) 地域に開かれ 信頼される学校
 - ・保護者や地域との連携を強化し、協力し合って児童を育成する学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人間尊重の精神を基盤とし、児童一人一人のもつ「持ち味」や「よさ」等を見取るとともに、児童とのふれ合いを通して、さらに認め伸ばし、豊かな心の育成に努める。
- (2) 一人一人の児童を多くの教職員で様々な視点から見取りながら、義務教育9年間を見通し、基礎・基本の定着を図るとともに、「分かる、楽しい授業」を展開し、新学習指導要領を踏まえた確かな学力の向上に努める。
- (3) 自他の生命を尊重し、児童・教職員一人一人が生き生きと前向きに安心して生活できる健康で安全な学校づくりの推進に努める。
- (4) 教育公務員としての自覚をもち、サービスを厳守するとともに、進んで自己研鑽に励み、自らの資質を高め、さらに、協働の精神を大切に、教職員・児童へ還元できるように努める。
- (5) 家庭・地域社会と連携を密にし、信頼と協力を基盤とする「開かれた学校づくり」に努める。
- (6) 小中一貫教育の推進を図るとともに、「石井小学校地域協議会」と連携し、児童の学習支援や安全確保、健全育成等、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】 「地域協議会」との連携のもと、地域の教育力を活用した学校づくりの推進
 (1) 豊かな心の育成 (2) 確かな学力の定着 (3) 体力と気力の増進 (4) 自主的・自立的な態度の育成
- 【学 習 指 導】 「豊かなかわりの中で、生き生きと活動する児童の育成」
 ～より思考を深め合える学習活動をめざして～
 ○(1) 基礎・基本の確実な定着 (2) 学習指導の工夫改善 (3) 読書活動の充実
 (4) 家庭・地域との連携・協力
- 【児 童 生 徒 指 導】 「発達段階と個人差を踏まえた基本的生活習慣の確立を目指す児童の育成」
 ○(1) 基本的生活習慣の育成 (2) 規範意識や人権感覚・意識の醸成 (3) 望ましい集団づくり
 (4) 個に応じた指導の充実 (5) 家庭・地域・関係機関などとの連携
- 【健康(保健安全・食育)体力】 「自己の健康・体力についての理解を深め、その向上に努める児童の育成」
 ～保健指導や学級活動との関連をふまえた教科体育の工夫～
 ○(1) 望ましい食生活の育成 (2) 健康・体力の向上 (3) 家庭・地域との連携

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印を付ける。

※「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 体験活動を重視した学習活動を行うことで、児童が自主性や主体性を発揮できるように留意する。 ② 学校行事や縦割り班による児童活動などで、児童が主体となり協力して参加できるような機会を多くもつ。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答85%以上	① 教育相談「先生あのおね」や保護者との懇談を通して一人一人のニーズを把握し児童理解に努める。 ② 授業のねらいを明確にし、分かる、楽しい授業を目指して、指導形態や指導方法、個に応じた支援を工夫する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 「石井っ子の生活」を連絡帳に貼ることで家庭との連携を図り、自己評価により振り返りをさせることで、学習や生活のきまりの徹底に努める。 ② 2週間ごと生活目標を決め、掲示したり朝会等で伝えたりするとともに、帰りの会等で振り返る機会を位置づけて決まりやマナーの意識づけをし、規律正しく生活しようとする態度の育成に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「授業が分かりやすく、丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答85%以上	① 学校課題のテーマである、「より思考を深め合える学習活動」の研究をとおして、わかる授業の実践に努める。 ② 習熟度別学習や少人数学習、TTによる指導を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 「いじめ問題」や「生命尊重」を題材とした道徳の授業を実施したり、児童に「いじめ0集会」に主体的に取り組ませたりすることで、いじめ未然防止に努める。 ② 年4回の「いじめアンケート」や年2回の教育相談、通年の児童指導委員会を活用し、いじめの早期発見に努めるとともに指導に生かす。		【達成状況】 【次年度の方針】

教育 全 体 の 状 況	A6 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 学校行事は、その都度評価反省を行い、改善点について検討し次年度に生かす。 ② 学校評価を検証し、児童や保護者、地域の方々の願いや思いを生かした教育課程の実施に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① オープンスクールを含め学校公開を年間8日実施する。また、学校行事公開や、地域のボランティアとの連携を深めるなど、開かれた学校づくりに努める。 ② 学年だよりや学校だよりをはじめ各種たよりを月1回は発行し保護者に取組を知らせる。また、HPの定期的な更新を行い、地域・保護者に情報を提供する。	【達成状況】 【次年度の方針】
学 校 運 営 の 状 況	A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 地域の学習素材を活用したり、地域人材と連携したりしながら、地区探検、農業体験、英語活動等の体験学習の機会を設定し、主体的に生き方を学ぶ児童の育成を目指す。 ② 地域協議会と十分に連携し、地域と保護者、保護者同士のつながりを深めることで、家庭の教育力向上をめざす。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 学校応援基金の活用やPTAとの連携により、さらに児童の学習に必要な設備や教材の整備を行う。校舎等施設の維持管理に努め、快適に使用できるよう定期的な安全点検と、点検後の早めの対応に努める。 ② 縦割り班のよさを生かして清掃し、全職員で指導にあたる。また、清掃マニュアルにより内容や役割分担を明確化させたり、強化週間を設けたり、清掃ボランティアの協力を得たりすることにより、清掃活動の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童・保護者との信頼関係を築き、居がいのある学校づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、保護者と連絡を密にしながら指導に当たっている。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 教職員が、児童一人ひとりのよさに目を向けて褒めることをとおして、児童相互に認め合う態度を育成すると共に、自尊心をもった児童の育成に努める。 また、その取組内容を保護者へ積極的に情報提供する。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況	上	② 問題行動については組織を機能させた早期発見，早期対応に努め，家庭や関係機関と連携しながら解決に当たる。	
	A10 児童は進んであいさつをしている。【全】 【数値指標】 全体アンケートの「児童はあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 地域学校園での共同実施も含めて，あいさつ運動を年3回実施すると共に，あいさつ標語を作成・掲示し意識の高揚を図る ② 学校と家庭・地域が連携して，地域全体であいさつを交わすよう，周知・啓発につとめる。 また，地域協議会や保護者会の折に，あいさつはもちろんルールやマナーに係る教育活動について話題としてとりあげ，連携して取り組む体制を整える。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A11 児童は正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童はあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 教職員が正しい言葉遣いに努め，児童の手本となるよう心掛ける。 ② 学習の中での発表の仕方と人権に関する学習を関連づけながら人権意識を高め，相手の気持ちを推し量る指導の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校は，児童の登下校の安全に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は，安全に気をつけて登下校をしている。」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 毎日，集団で登下校を行い，教師による巡回やスクールガード，PTAの協力を得ながら，安全に歩行しようとする態度を育成する。 ② 月1回，一斉下校指導を行い，班ごとに担当教師と登下校の様子について話し合い，安全意識の向上に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は，進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 教科体育において，たっぷりと汗をかくくらいの運動量を確保したり，「石井っ子の体力づくり」を活用して意識付けを図ったりして，体力の向上を図る。 ② 縦割り班による共遊を実施して群れて遊ぶことの楽しさを味わわせたり，業間や昼休みの外遊びを奨めたりすると共に，「うつのみや元気っ子チャレンジ」へ積極的に参加をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 児童は，栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は好き嫌いなく給食を食べている」	① 日常の給食指導やランチルーム使用時に学校栄養職員との会食を通して，朝食の重要性や安全で体によい食べ物についてなど，食に関する指導を充実させ，意識の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況		⇒児童の肯定的回答８０％以上	② 食育だよりやスタンダードダイアリーを活用し、保護者への啓発を図る。	
	学習	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上	① 児童に確かな学力をつけるために保護者に協力してほしい具体的な事柄を示した「石井っ子の学習」を配付し、家庭と連携して基本的な生活習慣を醸成したり、学習へ取り組む態度を育成したり、家庭学習の習慣を身に付けさせたりする。	【達成状況】 【次年度の方針】
		⇒児童の肯定的回答８０％以上	① 児童の得意な分野を更に伸ばす学習、または苦手な分野を克服する学習を自主学習として奨励し、顕著な取組を積極的に紹介し、自ら学ぶ態度を養う。	
		A15 児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上	① 「発表のし方」「話の聞き方」を全教室に掲示し、学習態度・技能の定着を図るとともに積極的に取り組もうとする態度を育てる。 ① 朝の学習時にプリント学習や、漢字や計算等のミニテストを継続して行い、基礎基本を身に付けさせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等		B3 進んで本を読もうとする意欲をもち、読書が習慣化されている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで本を読み、読書に親しんでいる。」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上	① 朝の読書活動時に読み聞かせを行ったり、読書週間を年２回実施したりすることにより、本に親しませ、読書活動の充実を図る。 ② 図書館だよりやBOOK新聞を発行し、保護者や児童への啓発を図りながら、読書活動の充実を目指す。	【達成状況】 【次年度の方針】
		B4 地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、地域協議会と連携し、親子のふれあいや地域の方々との交流に努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答８０％以上	① 生活科や総合的な学習における体験的な活動を中心にして、地域の各種団体と連携し、地域の方々との交流を深める。 ② 学校支援ボランティアが活躍できる体制をつくり、学校の実態を十分に理解してもらった上で、連携・協働し、地域の学校づくりを進める。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）